

議会報告会（第1回）記録書（その1）

開催日時：平成23年11月11日（金）19:00～20:40

場 所：岩倉市消防署2階大会議室

来場者数：46名

出席議員：全員（15名）

1. 報告事項

- ① 議会基本条例について
- ② 平成22年度一般会計決算認定について
- ③ 平成22年度特別・企業会計決算認定について
- ④ 常任委員会行政視察報告について

2. 主な質疑応答

① 報告事項について

問）議会基本条例第10条、情報公開の徹底とあるが、委員会の公開とは、どんな委員会のことか。

答）委員会条例で記されている常任委員会、特別委員会、議会運営委員会を公開している。ただし、代表者会議や全員協議会は公開していない。

問）議員間自由討議（テーマについて様々な角度から意見を出し合い議論することで、結論を出すことはない。）は、議員の資質向上になると思う。今後、どんな予定があるか。

答）全議員による議会改革特別委員会では、全議員が発言できるようにフリートークのスタイルをとっている。これを契機に自由討議を進めていく。

問）議会基本条例を先につくっているが、議会運営のあり方について、条例も改正していったほうが良いと思うがどうか。

答）変えていかなければならないものは、対応している。毎年見直し、市民に開かれた議会となるよう取り組んでいる。

問）プレミアム付き商品券の発行は、年末に向けて大口町や一宮市で商店の発展のためにやっている。なぜ岩倉市ではこういったことをやらないのか。去年は商工会がやったが、市制40周年でもあるのになぜやらないのか。

答）市全体の活性化、にぎわいを創るためどうすべきか、多くの皆様からのご意見があればしっかり受けとめて議会としても課題としていく。議会の中で、プレミアム商品券については、質問をしている。補助率など岩倉市としても必要があれば研究していきたいという回答があった。

問）行政視察において毎年北海道に行っているってことはないですね。視察先が、岩倉市とどういう関係があるかがよくわからない。どのような理由で行かれたのか。

答) 人口規模や市と町の違いはあっても、テーマを決めて優れているまちを視察先として選定している。無駄遣いはしていない。意見交換などをして得た事項は今後の岩倉市に活かしていく。

② その他一般

問) 国勢調査があったが、岩倉市は5年前から人口 1.2%減となっている。近隣市町では増加しているところもある。5万人都市構想があり、こんなに利便性のよいまちがなぜ人口が増えないのか。商業発展、まちの活性化のためにも人口増加が必要であり原因を教えて欲しい。また、議員から人口増加策の提案をしてほしい。

答) 岩倉市は利便性が高いということで、地価が下がらないのが、流入人口につながらない原因のひとつである。昼間と夜間の人口の差が県内で一番大きいのが岩倉市で、働く場が少ない。皆様の意見を受け止めながら進めていく。

問) 災害について、東北に知り合いがおり東日本大震災後、30分ぐらいすると携帯電話は通じなかったが、ネットはかろうじて使えた。社員の安否確認、会社の状況に応じた指示などで役立ったということがある。今後ツイッターなど情報ツールがあれば有用に活用できるかと思う。そういったものを情報収集に活かしてほしい。

答) 災害について、今話し合っている。災害地がどうしているのかが大きな課題。そうした中で、改選後、議員として7月には、災害ボランティアの講習に、ほぼ全員が参加し、知識を深めた。8月末の防災訓練においても、今後議員としてどう参加していくかを検討していく。ネットワークの問題、エリアメール、ツイッターについてもそれぞれが考え、意識をもって一般質問で取り上げるなど取り組んでいる。

「意見」

① こういった報告会でのいろんな意見をどのように取り扱われるのか。一つ一つ全部ひろって公開し、返すというのは難しいと思う。みなさん、岩倉を良くしたいという同じ思いがあって意見を言われる方ばかりであり、ぎっくばらんに言いたいことが言える場にしたい。議員も自分たちの思いを会派を超えて返していただいて、岩倉をどうしていけばよいのか、こうしていけばよいのではないかというのを話していける、岩倉を良くしていける場となると良いと思う。

② 駅東のくすのきを桜の木を植え替えて欲しい。その桜を見て、もうすぐ満開だとか咲き具合がわかる。また四季がわかるものがよい。五条川の桜並木が観光資源として非常に良いので、市役所にも桜があり、それを見て、桜の咲き具合も推測したり楽しんでもいる。岩倉の魅力をみんなで考えて、出し合って欲しい。

③ プレミアム商品券は、市民のためになったか検証しつつ行うべきである。

④ 行政視察は、8名全員で1箇所に行くこともないのではないかと。3人ぐらいで行けばもっと多くの箇所が視察できるのではないかと。

⑤ 行政視察を総括して、次の機会にどのように活かすか、行動することが大切である。また、今後このように発展させていくなどの報告をしてもらいたい。たとえ、見てきて、できなかったこと、勉強にならなかったこともその結果を総括して市民に報告すべきである。

議会報告会（第1回）記録書（その2）

開催日時：平成23年11月18日（金）19:00～20:40

場 所：岩倉市総合体育文化センター研修室

来場者数：34名

出席議員：全員（15名）

1. 報告事項

11日開催の報告会と同内容

2. 主な質疑応答

① 報告事項について

問) 行政視察はなぜ必要なのか。岩倉の課題を解決するために行うのか。

答) 総括的な回答になるが、視察のあり方については今、議会改革特別委員会で取り組んでいる。

問) もっとスピーディーにやれないのか。

答) 全会一致でやれるように調整しているので時間はかかっている。

問) 視察について何人で行くべきか議員一人一人の意見を聞かせてもらいたい。

答) 今回は、議員個人の考えを述べる場ではないのでその回答は控えさせていただきます。

問) 視察の意義、視察先決定方法について、また今回の視察先は岩倉市にとって相応しいのか。

答) テーマを決め視察を実施している。グリーンツーリズムについては、体験農業ということで取り組んでいるが岩倉市にも参考になると考えた。滝川町では、暴力団対策、市の職員の公平・公正な職務の執行における条例制定についてなどの先進地であり、学ぶことにした。千歳市では、岩倉市にもある防災交流センターについて、その施設のあり方を学ぶために行った。

問) 視察先のインターネットなど調べたものあるか。

答) 資料があるので、必要であれば後日議会事務局でお見せできる。

問) 現地へ行かなければ知り得ないことはなにか。

答) 百聞は一見にしかず。視察地との意見交換もでき、岩倉市の発展にもつながるものがある。

問) 視察について、テーマを持って行かれているし、数値も出ているので、その結果どうなったかが欲しい。例えば、自然エネルギーについても岩倉市はどうしていきたいのかが見えない。その点どうか。

答) 岩倉の中においては、梶原町のような風力発電は難しいと思うので、太陽光発電について取り組めればと考えている。岩倉にとって一番良い自然エネルギーの活かし方は検討していきたい。

問) 土地利用について岩倉市は低いと思う。農地は、コスト高でなくなると思う。稲作をやっているでも大赤字になる。農家としては、農業は委託した方がよい状況である。もっと宅地化をすすめて欲しい。市街化区域が狭いのではないか。市域全部(100%)市街化区域でもよいと思う。市民税、固定資産税などもあがり、財政面も良くなるのではないかと思う。市民サービスもよりよくなるのではないかと思う。農地法などで難しいかもしれないが、宅地化に取り組んでいるように思えないので、岩倉市が前面に出て、全面宅地化をしてほしいがどうか。

答) 土地の有効活用についてはこれからも取り組んでいく。

問) 政務調査費の執行及び公開については検証が必要ではないか。

答) 使途基準が厳しく決められており、罰則規定についてはないと思う。オンブズマンにも検証していただいており意見ももらっている。

問) IP電話を107台購入したが、今はどうなっているのか。国の予算だからといってよいわけではない。賛成したのだから、しっかり見張って下さい。何のために買ったのかわからない。

答) 正確な回答はできない。(後日確認したところ、公共施設に17台、個人及び団体に8台、22台は大府市のNPOに貸し出し、60台は未使用とのこと。)

② その他一般

問) 議員の役割は行政チェックと提案。委員会を作ってチェックをはかって欲しい。行政改革については大いに問題あるので早く、しっかりやってほしいがどうか。

答) 意見・質問を行い指摘しているが、まだまだ不十分であると感じている。議会改革の検討課題として、今後は事業評価を取り入れていくことを検討している。

問) 防災について市役所の職員は市外の人が多い。災害の際、職員がどのくらいの時間で来庁できるのか。交通手段はあるのか。そういったことを検証しているのか。

答) どこの地区に何人住んでいるというのは、議会としても問題視している。連絡網やどの程度の災害規模で何人来るのかという取り決めはある。市内の職員も被災する場合があると想定もしている。防災マニュアルが作成されているのでしっかり検証していく。

問) 岩倉は市であるが、本来、人口規模では市になれない。その点どう思うか。どうしていききたいか。

答) 3万人の時、特例措置で市になった経緯がある。交通の便利の良さを活かしたまちづくりを進めて生きたい。

「意見」

- ① 岩倉市も第三者も含めた行政を監視する委員会をつくってほしい。
- ② 視察人数について、後日でも、新聞発行などでもいいので議員個人の視察に対する考えを聞かせてほしい。議員の選定材料としたい。
- ③ 議会報告会という画期的なことを始めてくれてありがたい。
- ④ 視察は、プライオリティー（優先順位）をつけて、一つの課題に議員2名ぐらいと事務局員の3名でいけば良い。8名も行く必要がない。視察は、課題・問題があっていけばよい。
- ⑤ 視察の報告書は市民が納得いくようなまとめ方をしてほしい。誰もがわかるように書かれたものがよいと思うが、重みがない。
- ⑥ 現状がわかるので、このような報告会開催はよい。
- ⑦ 報告事項について感じたのは、議会だよりの内容の棒読み聞こえる。目が悪いのか。
- ⑧ 議会基本条例に迫力がない。岩倉の独自性がない。覚悟が感じられない。改善は感情的でなく、システムの考えなければならない。過去が全て良いわけではないので、捨てるもの、活かすものの精査することも必要と思う。議員の意見がそれぞれなので、なかなかまとまりにくいという答弁があったが、組織体では理念がないとうまくいかないと思う。理念の精査をお願いしたい。
- ⑨ 福島原発問題による放射能が心配である。給食が心配なので、検査をしてほしい。産地公表をしてほしい。
お金がかからない方法出良いので、お母さん方との意見交換会や学習会を開いてほしい。
ヨウ素剤の備蓄ができてるのは良いと思う。効き目からもヨウ素剤提供するタイミングが重要なので、保管場所が壊れてはダメ。あっても飲ませられないということがないように対応をお願いしたい。
防災訓練のときなど、放射能の知識の勉強も取り入れてほしい。保育園から実施してほしい。
- ⑩ 桜まつりで露店を出す際、桜の木の根元に杭をうっているケースがある。桜の木は大事と言っているが、行政の対応はあいまい。岩倉の大きな財産である桜の木が傷むので、議

会でも対応、指導してほしい。360店出ている露店の管理と指導の徹底をお願いしたい。

- ⑪ こういった報告会では、私たちが議員で、そちらが行政職員ではないので、回答するというのではなく、私たちの意見を聞いてそれを踏まえて取り組んでいくということが大事だと思う。
- ⑫ 市議会だよりを見て思ったことは、「検討」「研究」という表現は使わないでほしい。「総合的に考えて検討する」という表現は全く意味がわからない。検討・研究の部分は、スケジュールをしっかりと明記して、今後議員がそのスケジュールにあわせて追求していくことが必要であると思う。
- ⑬ 太陽光発電は、環境負荷が大きく、採算も合わないのでやめて欲しい。
- ⑭ 委員会の委員長がよく変わる。例えば、土地に詳しい人にはその関係の委員長を長年やってもらおう。委員会を真剣にやっているのか。総合計画でも、いろんな意見があるが、優先順位をしっかりと決めて取り組んでほしい。

☆ 11月18日（金）開催の議会報告会での質問に対する回答

1. 政務調査費について

- ① 毎年余らせているのに、なぜ3万円増額したのか。

（回答）

議会基本条例の制定により、より議員の資質向上が求められています。

その中で自己研鑽のための研修の拡大を図る必要性と、各会派に設置したパソコン等の周辺機器の維持費が会派ごとの管理責任として平成23年度より新たに発生したことにより、3万円の増額としました。

- ② 政務調査費と行政調査のあり方。

（回答）

以前より議論が行われてきた事案であり、今回の議会報告会で頂いた意見も踏まえ、議会改革特別委員会で検討していきます。

- ③ 議会費を議会で議決するシステムに疑問を感じる。（自らやりたい放題とならないか）

（回答）

議会費に関しては全ての情報を公開しています。また、最終的には市監査委員による監査を受けて中立的な判断を受けております。